

消化器内科

炭酸ガスを使用した 大腸内視鏡検査について

国吉病院

消化器内科部長 岡本 博司 さん



大腸内視鏡検査にて病変を見落とさないように観察するには、空気を十分に入れて腸管を膨らませる必要があります。これは大腸には大きなひだがあるため、腸管の膨らみが悪い

とひだの裏側の病変を見落とすてしまう恐れがあるためです。しかし、入れた空気がなかなか抜けず、検査後も腹部膨満感が続くことがあり、大腸内視鏡検査が苦しいとされる原因の一つ

なっています。

空気の代わりに腸管からの吸収の速い炭酸ガスを送気する装置を用いることによって、膨らんだ腸管が速やかにしぼむため、腹部膨満感などの苦痛を軽減することができます。



国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科 他